

着任のごあいさつ



浜松東税務署長
中村 哲也

公益社団法人浜松東法人会の皆様には、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から税務行政に対しまして、格別の御理解と多大なる御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は、この度の定期人事異動により、名古屋国税局業務センター沼津分室 統括国税管理官から浜松東税務署長を拝命しました中村 哲也でございます。前任の中野署長同様、よろしくお願い申し上げます。

浜松市は、常に静岡県トップを走っている。そんな印象を持っています。自然、産業、文化、歴史が豊かに融合した魅力あふれる地域であり、「やらまいか精神」という言葉のとおり「やってやろうじゃないか」と新しいことに果敢にチャレンジするやる気や活気に満ちあふれ、家康、直虎ゆかりの地、音楽の都、ものづくりのまちとしても全国的な知名度は抜群であります。

そのような重要な地域を管轄する浜松東税務署で勤務できることは、大変光栄なことだと思っております。

さて、貴会におかれましては、税のオピニオンリーダーとして、第18回を数える「子どもフェスタ税金教室&映画会」の開催や、養護施設活動への協賛などの社会貢献事業を通じ、企業並びに地域社会の発展に大きく貢献いただくとともに、税に関する絵はがきコンクールや小学校における租税教室の開催に加え、昨年度は、新たに浜松東高校に対し租税教室を開催するなど正しい税知識の普及に努めていただいております。

これもひとえに荒澤会長様をはじめ、役員の皆様と会員の皆様の情熱と積極的な会活動の賜物であると深く敬意を表する次第です。

今後とも貴会との間で培ってまいりました信頼関係の下、更なる連携・協調を深めてまいりたいと存じます。引き続き、魅力ある事業活動を展開されますことを御期待申し上げます。

さて、経済社会のグローバル化・デジタル化の進展等により税務行政をとりまく環境は、これまで以上に急速に変化しています。急速な変化に柔軟に対応し、様々な課題に的確に対応していくことが極めて重要であると考えており、国税庁では、「税務行政のデジタル・トランスフォーメーション」を推進しております。従前から取り組んできた「納税者の利便性の向上」と「調査・徴収事務の高度化」とともに、「事業者のデジタル化促進」を取り組むべき施策に掲げ、税務手続だけでなく、事業者が行う日々の業務のデジタル化に向けて取り組むこととしています。経済取引から会計・税務までの様々な業務が一貫してデジタル化されることで、単純誤りの防止による正確性の向上や、業務の効率化が図られ、生産性の向上や人手不足等の課題の解決などが期待され、最終的には、この経済取引の発生から申告・納付までが、データにより一貫してデジタル処理されるところを目指し、必要な支援機関や支援制度を提供し活用を促してまいりたいと考えております。

貴会におかれましても、会員等事業者向けに開催される研修会等において、デジタル化に関するものを積極的に実施していただけますと幸甚でございます。

結びに当たりまして、公益社団法人浜松東法人会の益々の御発展、会員皆様方の御健勝と事業の御繁栄を心から祈念いたしまして、着任のあいさつとさせていただきます。